中田地域に伝わる昔話を紙芝居に
高堂クラブと芸工大生が企画

東北芸術工科大学の協力を得て、高堂クラブの皆さんが地域にまつわる昔話を紙芝居に仕上げました。７月13日には、制作した「ろくのじょう物語」を栗田カツ子さん（小蝉）が語り手となり小蝉公民館で披露。学生らも村人などの配役に合わせ、上手な『金山弁』で演じました。カツ子さんは「皆さんの協力で完成した。形となって残っていくのは嬉しい」と話していました。

▲来場者からは「とても懐かしい気持ちになった」との声が

▼アレンジされた町の歌「水清き町」など10曲を演奏

蔵史館でハープコンサート
街並みとマッチした清らかな調べを

国際的に活躍する伊藤舞梨（まり）さんによるハープコンサートが６月27日夜、蔵史館を会場に開催されました。伊藤さんは山形市出身のハープ奏者。祖父母の住む金山で演奏したいという思いを聞いた㈱カネカが公演を企画しました。雨の降る中、集まった約80名はしっとりした音色に心酔。伊藤さんは演奏が終わると、祖父母に歩み寄り「演奏できてよかった。感無量だ」と目尻を下げ、話していました。

まちのわだい

身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係　☎52−2111（内線225）

晴天のグリーン市
カキ氷や生ビールに「夏本番」

７月６日、第16回グリーン市が開催され、会場の中央公民館前駐車場を訪れた多くの方が、夏まつりの定番品を買い求めていました。恒例の「たまねぎ詰め放題」には長蛇の列ができ、ほどなくして完売する盛況ぶりでした。

1_SUGI☆スターズはわたあめ作りのボランティア　2_争奪戦となった「たまねぎ詰め放題」　3_熱気とともに気温も上昇しカキ氷には行列が　4_グリーン市の主役はやっぱりお花屋さん　5_「パパ、私より下手じゃん！」

交通安全母の会が一人暮らし世帯を訪問
夜間の事故防止と防犯を啓発

町交通安全母の会が主催する「一人暮らし高齢者世帯訪問」が７月５日夕方、新庄警察署や関係団体の協力のもと実施されました。45名が153世帯を一軒ずつ訪問し、さくらんぼと夜光反射材を配布。松田聖子（せいこ）会長は「高齢者の交通事故が多発しており、特に夜間は注意が必要。また、特殊詐欺や身近な犯罪に遭わないよう注意喚起していきたい」と話していました。

▲松田会長（右から２番目）のほか参加された皆さん

▼慣れないお抹茶に思わず「苦い顔」になる園児も

日本の伝統を身近なものに
蔵の会による「お茶席体験」

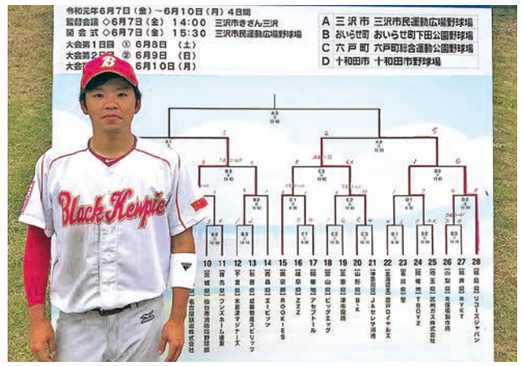
７月８日、蔵の会（代表：阿部一代（かずよ））指導のもと、認定こども園めごたまの年長児たちが「お茶席」を体験しました。会場の園舎ホールには緋毛氈（ひもうせん）が敷かれ、雰囲気は十分。一連の作法を学んだ後、園児たちは膝をつき、たどたどしくお茶をたしなみました。蔵の会の鈴木真知子（まちこ）さんは「園で日頃から正座で食事をしているだけあって、みんな姿勢が綺麗。飲み方も上手」と話し、目を細めていました。

町出身の髙橋さん・加藤さんペア
消防救助技術県指導会で優勝

７月４日に開催された、救助活動に必要な体力、技量などを競う消防技術県指導会において、最上広域消防本部の髙橋（ひかる）輝さん（入有屋）・加藤雄介（ゆうすけ）さん（安沢）ペアが、ロープ応用登はんの部で見事優勝を飾りました。17メートルを11秒台で登る県最速のスピードが特に評価。８月に岡山で開催される全国消防救助技術大会に駒を進めた金山ペアは「表彰状を持って帰りたい」と意気込んでいました。

▲（写真左から）髙橋輝さん、加藤雄介さん

▼パワーのある打撃と堅実な守備が持ち味の笹原さん



社会人野球「B・K」所属の笹原さん
東日本ベスト４に貢献！

笹原拓史（たくふみ）さん（安沢）の所属する社会人野球チーム「B・K」が山形県大会で優勝し、青森県で開催された第41回東日本軟式野球大会（２部）に出場しました。山形県代表として健闘を見せ、チームとしても初のベスト４入り。笹原さんは内野手と中軸打者として攻守に大活躍しました。「全試合に出場した。なんとか得点に絡むこともできたのでよかった」と口元を緩め、振り返っていました。